

歯科材料 2 歯冠材料
管理医療機器 歯科用暫間被覆冠形成品
JMDN コード：34976000

ポリカーボネイト暫間用クラウン

再使用禁止

【禁忌・禁止】

クラウンは再使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

1. 本材は暫間被覆冠形成品で前歯および小臼歯全 60 形態である。

構成品	組成
クラウン	ポリカーボネイト、グラスファイバー
モールドガイド	ポリカーボネイト、グラスファイバー

備考) モールドガイドは、歯冠形状のものが複数個連なった射出成形品で、サイズ確認に使用する付属品。

2. 原理

本材はポリカーボネイト製で、支台歯等に被せる成形冠として用いられる。

【使用目的又は効果】

治療中の自然歯を、歯科用セメントと本材を用い被覆し、一時的に保護する。

【使用方法等】

- 形成歯または近遠心幅を計測して適切なサイズの本材クラウンを選びます。サイズ確認のため、必要に応じて本材のセットに入っているモールドガイドを使用できます。
- 歯頸部をはさみで切りとり形を整えます。バーまたはダイヤモンドポイントでも削合できます。
- セメントによる仮着の前に常温重合レジンの本材とともに用いることをお勧めします。
 - 練和した常温重合レジンの本材クラウンに入れて、あらかじめ分離材を塗布した形成歯の上に試適します。なお、本材クラウンは半透明なので、色調は中に入れた常温重合レジンで調整できます。
 - 常温重合レジンがゴム状になったときに、本材クラウンを歯牙から除去して、はみ出したレジン切除します。
 - 切除時に生じた歪みを修正するために、再び本材クラウンを形成歯に試適します。
 - 再び本材クラウンを除去して、常温重合レジンを重ねします。
 - 常温重合レジンの重合が完了すれば、本材クラウンを形成したフィニッシュラインまで削除します。適当なセメントで仮着します。
- セメント仮着
亜鉛華ユージノールセメントまたはテンポラリーセメントで本材クラウンを仮着します。歯牙のシェードはセメントのシェードでも変えられます。
必要によりクラウンの内面にバーで、2～3 本の溝か、刻み目を形成する（リテンションを付与する）ことにより保持が強まります。

《使用方法に関連する使用上の注意》

常温重合レジンおよび亜鉛華ユージノールセメントは本材と化学的に結合します。他のセメントは化学的には結合せず、物理的結合により保持します。

5. 頬側および舌側の修正

- ディスクで本材クラウンの近心および遠心を切端に達するまで切れ込みを入れます。

- 注意して、ブンゼンバーナーの上で切端部を加熱して、頬側および舌側から押しつけます。
- 常温重合レジンでライニングします。近心および遠心部は常温重合レジンで封鎖されて、完全なクラウンの形態を得ることができます。

【使用上の注意】

- 重要な基本的注意
 - クラウンは再使用しないこと。
- その他の注意
 - 本材の使用にあたっては、本材が患者の症例に適合するかどうかを、歯科医師が判断すること。

【保管方法及び有効期間等】

保管方法

- 高温多湿を避けて保管すること。
- 本材を直射日光にさらさないこと。

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

- * 名称：スリーエム ジャパン イノベーション株式会社
** TEL：0120-332-329（カスタマーコールセンター）

外国製造所の国名及び製造業者の名称

- ** 米国、スリーエム ヘルスケア ユーエス オプコ エルエルシー
(3M Healthcare US Opco LLC)

保証：品質不良が明らかにされた場合は、同数量の新しい製品とお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。